

復興支援者の背中 支えたい

東日本大震災の被災者を支える人々を、後方支援する動きが生まれている。復興まで長い期間がかかることを見越し、「支援する人が息切れしないように」という思いからだ。

鍼灸師らが 無料で施術

鍼灸師やあんま・マッサージ師らが4月、「キョア・イースト・ジャパン」というネットワークを結成した。被災地で活動する人々を無料で施術する。呼びかけたのは、東京都目黒区の鍼灸師、若林理砂さん(34)だ。

きっかけは、患者の一人として訪れた早稲田大学院講師の西條剛央さん(36)だった。4月初め、行政を介さず必要な物資を必要な所へ届ける支援システム「ふんばろう東日本支援プロジェクト」を立ち上げた。睡眠時間を削って作業していた。

治療を受けた日の晩、西條さんは震災後初めてぐっすり眠れた。「こんなに疲れていたんだと自覚した。支援する側が倒れては元も子もない」。同僚スタッフのケアを若林さんに依頼した。

若林さんは、被災地に駆けつけたかと思いつながら、3カ月先まで診療予約でいっぱい。西條さんの依頼に「施術所にながら支援にかかわれる」と喜んだ。「無償の奉仕には無償でこたえよう」とツイッターや口コミで同業者を誘うと、首都圏や札幌、名古屋、大阪など約70カ

「長丁場 自分のケアも忘れないで」

所の施術所が名乗りをあげた。ボランティアだけでなく、消防士や警察官、自衛官も対象。「無料だ」と行きつらいという人のために、施術料を支援金に回す仕組みも整えた。「復興支援は長丁場。自分の心身のケアも忘れないで」と呼びかけている。被災者も無料。申し込みは同サイト (<http://cureeast.jp>) か。



「遠慮せず足を運んで」と呼びかける若林理砂さん(東京目黒区)

被災者の密様のお越しもお持ちして頂きます

2011年5月29日朝日新聞朝刊

「復興支援者の背中 支えたい」について

記事内では「施術無料」と記載されておりますが、

正しくは「初回無料」です。

2回目以降に関しては、各施術者がそれぞれ料金設定をしています。

大変申し訳ありませんが、ご理解ご了承のほど、お願いいたします。